

**製品名:** サイトケラチン 20 (8W19) ウサギモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMRe09742

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:500,FC 1:200-1:1000
分子量	48kDa

## 抗原情報

遺伝子名	KRT20
別名	CD20; CK-20; CK20; cytokeratin 20; Cytokeratin-20; K1C20; K20; keratin 20; Keratin, type I cytoskeletal 20; Keratin-20; KRT20; KRT21; MGC35423; Protein IT;
遺伝子 ID	54474.0
SwissProt ID	P35900
免疫原	ヒトサイトケラチン 20 の合成ペプチド

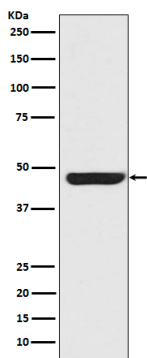
## 背景

サイトケラチン (CK) 20 と呼ばれる中間径フィラメント (IF) タンパク質は、成熟した腸管上皮細胞および杯細胞の主要な細胞タンパク質であり、哺乳類の消化管粘膜上皮に広く見られます。これらの結果は、腸管上皮におけるケラチン遺伝子の転写制御が、未熟な上皮細胞と終末分化した上皮細胞の両方のレベルで起こり、胎児発育期および腸管上皮の陰窩から絨毛への分化過程の両方で厳密に制御されていることを強く示唆しています。腸管上皮におけるケラチンフィラメントの組織化を維持する上で重要な役割を果たします。リン酸化されると、小腸におけるムチンの分泌に関与します (相同性による)。

## 研究分野

-

## 画像データ



SW480 細胞溶解物中のサイトケラチン 20 発現のウエスタン ブロット分析。